

青葉奨学金

提案: アジア教育友好協会 (AEFA)

1. 対象: ベトナムの子ども (南部チャビン省を優先する)

どんな子供達を支援しているのか？

貧しさは子どもたちの教育まで脅かしており、学校教育を受ける機会さえ奪われている子どもたちが数多くいます。わずかな学費が払えないために学校に行けない、学用品が買えない、家計を助けるために学校に行かずに働いている子どもたちに希望を与えたいと考え、教育を通して、彼らが成長していく姿を見守っていきたいです。



Tran Quoc Bao Anh (左): 父の顔すら知らず、母は出稼ぎに行き、叔父さんと一緒に暮らしている。

Nguyen Thi Minh Tram (右): 兄弟が多い家の長女であり、夢は美術大学で勉強すること。

奨学生選抜制度: 各地域の小学校・中学校のご協力で、経済状況や家庭事情が厳しいながらも、勉学に励んで努力している優秀な奨学生を学校単位で選び、校長先生と担任先生から推薦して頂きます。

2. 主体:

青葉奨学会

1991 年グエン・ドク・ホウエさん (ホーチミン市にある「東遊 (ドンズー) 日本語学校」設立者) が設立しましたベトナムでの奨学会です。当初は、ホーチミン市と周辺地域の数人の子どもたちを対象に奨学金の給付を始めました。資金は日本で集め、「ベトナム子ども基金」という日本の NPO も窓口となっています。

青葉奨学会: <https://www.facebook.com/laxanh.dongdu>

ベトナム子ども基金: <https://v-c-f.org/>

現在の実績:

2019 まで奨学生の数: 約 10000 人

年間平均の奨学生の数: 約 400 人

☆奨学生から社会への恩返し: 「兄弟奨学金」

日本に留学できた奨学生は自分の故郷の後輩のために、「兄弟奨学金」を創立しました。

＋奨学生の成長：社会人になって、奨学会に戻り、感謝の言葉を伝えた。



(左上から)



7年後里親と再会



Mai Thanh To I - 9年間元奨学生・現在会計士

Le Chau Bao - 11年間元奨学生・現在 BEN TRE 省の水道局

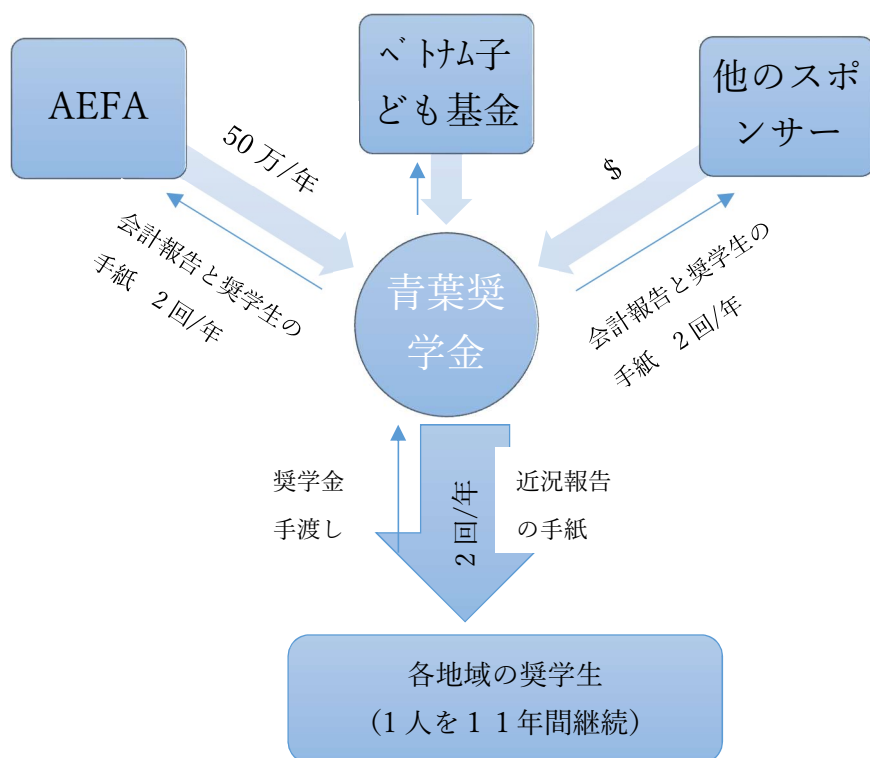
Le Diem My - 4年間元奨学生・現在不動産正社員

3. 事業内容

● 事業の目的:

教育こそは貧困から抜けだし自立した人間らしい生活を築くための基礎となると信じ、奨学金として貧しい子どもたちに支給しています。子どもたちが成長するまで教育を受けられることを保証するため、活動しています。

● 青葉奨学金の1年間の仕組み:



✉奨学生からの手紙

(ベトナム子ども基金の里親への報告)

<http://www.v-c-f.org/tsushin/tsushin70.pdf>

2016-2017 年度の奨学金授与式の様子



ホーチミン市内



タイニン省



● 奨学金の詳細:

人づくりという意味で、奨学生は小学生2年生から選ばれ、高校卒業まで11年間継続して奨学金を与える。

* 11 年間の奨学生の場合

* 単位:USD

	1 年間	合計
小学校2年生～5年生(4年)	48	192
中学校1年生～4年生(4年)	72	288
高校1年生～3年生(3年)	96	288
管理費	12	132
合計 (奨学生 1 人に必要な奨学金)		900

* 50 万円資金の 1 年間内訳(提案)

* 単位:USD

	\$ /人/年	支援人数	合計
小学年	60	15	900
中学年	84	15	1260
高校生	108	15	1620
翌年繰越			220
合計			4000

* 奨学金の使い道:授業料を払ったり、本やノートなどの学習道具を買ったり勉強のために使っているそうです。

お正月には少しを新年の新しい服を買うのに使うときもあります。(奨学生の手紙を通して報告してくれます)

● 一年間のスケジュール:

- 9月: 各地域(各学校)に今年度の受入奨学生の数を知らせる
- 9-11月: 各地域で奨学生募集する
- 12月: 奨学金の結果発表
- 1月: 奨学生に一回目の奨学金を手渡す (スポンサーが資金を振り込みはこれまでに)
- 1-2月: スポンサーに一回目手紙、会計報告を送る
- 5月: 奨学生に二回目の奨学金を手渡す
- 5-6月: スポンサーに二回目手紙、会計報告を送る

● 青葉将学会のその他の活動:

+ 2016年のベトナム中部洪水災害・緊急支援: QUANG BINH 省と HA TINH 省

